

淺草廣小路及仲見世附近延燒之慘狀

(三其 報災大都帝)



台東区立図書館／デジタルアーカイブ収録. 台東区立図書館所蔵
『(帝都大震災画報 其三) 浅草広小路及仲見世附近延焼之惨状』. CC BY (表示)
<https://adeac.jp/taito-lib/catalog/mp060080-100060>

関東大震災に関する教材／ 学習の素材となる パスファインダー：

<資料から問いを立て、調べてみよう>

鎌倉市図書館近代史資料室収録.『関東大震災 大震災後の（国寶）鎌倉の大佛』.
CC BY-NC（表示-非営利）

<https://lib.city.kamakura.kanagawa.jp/opw/OPW/OPWSRCTYPE.CSP?BID=B11814964&DB=LIB&FROMFLG=1>





鎌倉市図書館近代史資料室収録.

山辺善次郎/撮影

『関東大震災 建長寺山門』.

CC BY-NC (表示-非営利)

<https://lib.city.kamakura.kanagawa.jp/opw/OPW/OPWSRCTYPE.CSP?BID=B11815018&DB=LIB&FROMFLG=1>



鎌倉市図書館近代史資料室収録.

山辺善次郎/撮影

『関東大震災 坂ノ下海岸』

CC BY-NC (表示-非営利)

[https://lib.city.kamakura.kanagawa.jp/
opw/OPW/OPWSRCHTYPE.CSP?BI
D=B11815004&DB=LIB&FROMFLG=](https://lib.city.kamakura.kanagawa.jp/opw/OPW/OPWSRCHTYPE.CSP?BI D=B11815004&DB=LIB&FROMFLG=)



鎌倉市図書館近代史資料室収録.

山辺善次郎/撮影

『関東大震災 鎌倉倶楽部（演技場）』.

CC BY-NC（表示-非営利）

<https://lib.city.kamakura.kanagawa.jp/opw/OPW/OPWSRCHTYPE.CSP?BID=B11814994&DB=LIB&FROMFLG=1>



鎌倉市図書館近代史資料室収録.山辺善次郎/撮影『関東大震災 坂ノ下通り』. CC BY-NC (表示-非営利)
<https://lib.city.kamakura.kanagawa.jp/opw/OPW/OPWSRCHTYPE.CSP?BID=B11815015&DB=LIB&FROMFLG=1>



台東区立図書館／デジタルアーカイブ収録:台東区立図書館所蔵.
『(帝都復興祭記念奉祝花電車) 花咲春』.
CC BY (表示)

<https://adeac.jp/taito-lib/catalog/mp091948-100090>



台東区立図書館／デジタルアーカイブ収録.台東区立図書館所蔵.『帝都復興祭に賑ふ日本橋通三丁目と其装飾』.CC BY (表示)
<https://adeac.jp/taito-lib/catalog/mp091966-100090>

飾装其と目丁三通橋本日ふ賑に祭興復都帝

上野駅焼跡





關東地方大地震實況 淺草仲見世の慘狀

台東区立図書館／デジタルアーカイブ収録. 台東区立図書館所蔵. 『関東地方大地震実況 浅草仲見世の惨状』 . CC BY（表示）
<https://adeac.jp/taito-lib/catalog/mp091029-100090/>

(上)りぶ興復の面方橋本日たし望展ちか上樓の館新社我
(下)りぶ興復の面方座銀たし望展ちか上樓の館新社我

[illegible]

また、以下の点にも注意を要する。まず、この論文は、日本の経済成長と関係が深い。日本は、戦後、急速な経済成長を遂げた。この成長は、主に、製造業の発展によるものと考えられている。しかし、この成長は、同時に、環境問題を引き起こした。特に、公害問題が深刻化した。この公害問題は、日本の経済成長と密接な関係がある。したがって、この論文は、日本の経済成長と環境問題の関係を明らかにすることを目的としている。また、この論文は、日本の経済成長と環境問題の関係を明らかにすることを目的としている。したがって、この論文は、日本の経済成長と環境問題の関係を明らかにすることを目的としている。

台東区立図書館／デジタルアーカイブ収録.
台東区立図書館所蔵.

『（関東大震災復興写真）』.

CC BY (表示)

<https://adeac.jp/taito-lib/catalog/mp042210-100040>

関東大震災災画帖





焼野原に々る横濱の全景



てし化と土焦の面一り限す波見

大正十二年九月一日午前十一時五十五分轟然たる音響と共に激しくゆれた地震は刻一刻其威を逞ふし瓦は落ちる壁は飛ぶ器物は倒れてころがる歩行は困難地面は割れる家屋の倒壊相次いで起る遂に熾火を誇る石造大建築も數多崩壊したのであつた此の間僅かに二分間逃げ後れし者は家屋の下敷となりて無殘壓死を遂げ或は壁に挟まれ梁に押へられてそこにも此處にも悲鳴を擧げて救を求め一大修羅場の場面は展開されたのであつた漸く死を免れたかと思ふと忽ち四方より火が起つた折柄西北の風は強く火勢を煽ふて紅連の熾は何者をも焼き盡さん勢ひである市民の狼狽極度に達して一大混亂に落入つた右往左往我先きに逃れんとして親にはなれ子を失ひ逃れても逃れても火の襲ふ所となり遂に力盡きて倒れるあり或は逃げ場を失ひて河中に飛び込みあえなく溺死を遂げ或は火熾に包まれて焼死するもの數知れず阿鼻叫喚至る所に起り焦熱地獄と化してしまつた。斯くして危ふく安全地帯に逃れ出たる者も夜に入りては絶へ間なき激震に怖やかされ雷の如き音響と共に大王場の爆發するもの相次ぎて物凄く風は益々勢を加へては凄じき大旋風を卷き起すに至つた火は愈々猛り狂ひ火炎渦を卷いて數町に延び火柱炎々として天に沖し遠き避難者の頭上には火の粉板切雨の如くに降り來りて實に懷絶悲絶であつた此恐ろしき大旋風は有名なる本所被服廠跡に於て三万二千人の無殘なる焼死者を出し最も慘鼻を極めたのであります。斯くて二日二ばん燃え通した大火災はさしも全盛を極めたる大建築大橋梁悉く皆め盡して遂に帝都全戸數の七分強を灰燼に歸し横濱市は殆ど全土を焼失してしまつた東京市の罹災四十一万一千戸死者八万四千百十四人を算し傷者行方不明者幾十万あるを知れず横濱の罹災十一万三千戸死者二万四千人其他の地方を合すれば夥しき數に、らん大慘事も今や世界の端てまで響き渡り終生忘るゝことのできぬ古今未曾有の大震災とはなつたのであります。



国立国会図書館デジタルコレクション収録.

『近世名士写真』其1,近世名士写真頒布会より「高橋是清閣下」. PD (PDM)

<https://dl.ndl.go.jp/pid/12394685/1/4>

関東大震災記



東京朝日新聞編輯

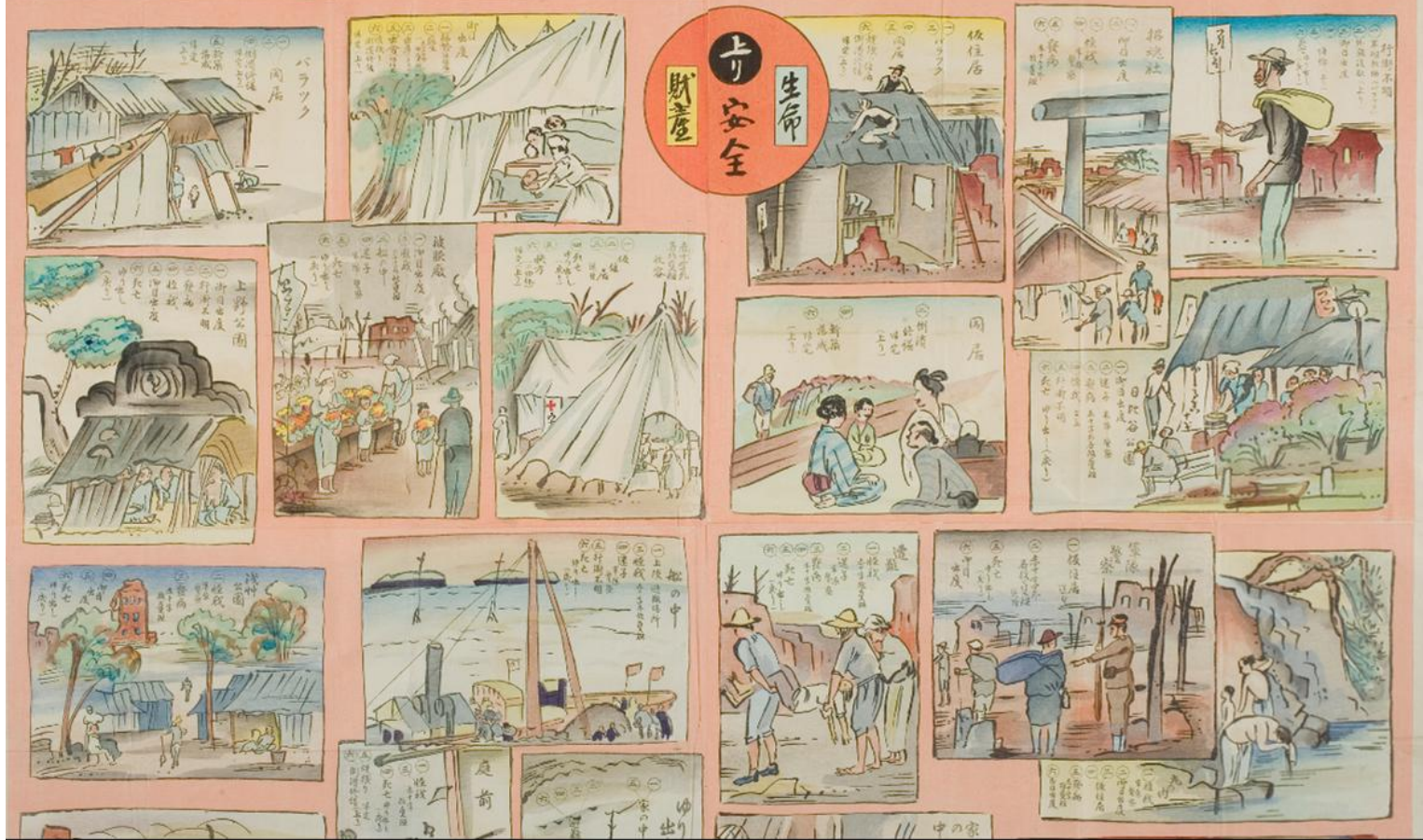
国立国会図書館デジタルコレクション所蔵. 東京朝日新聞社 編. 『関東大震災記』 . PD (PDM)

<https://dl.ndl.go.jp/pid/987324/1/2>

国立国会図書館デジタルコレクション所蔵.
政治智識普及会 編全国新有権者同盟発行
『震災手形法案の暴露』.
著作権未決定-裁定制度利用著作物

<https://dl.ndl.go.jp/pid/1455640>

大正大震災雙六



東京大学総合図書館所蔵.石本コレクション.『大正大震災双六』.PD (PDM)

住宅被害棟数							死者行方不明者数					
地域	全潰	非焼失	半潰	非焼失	焼失	流失埋没	合計	住宅全潰	火災	流出埋没	工場等	合計
神奈川県	6万3577	4万6621	5万4035	4万3047	3万5412	497	12万5577	5795	2万5201	836	1006	3万2838
東京都	2万4469	1万1842	2万9525	1万7231	17万6505	2	20万5580	3546	6万6521	6	314	7万0387

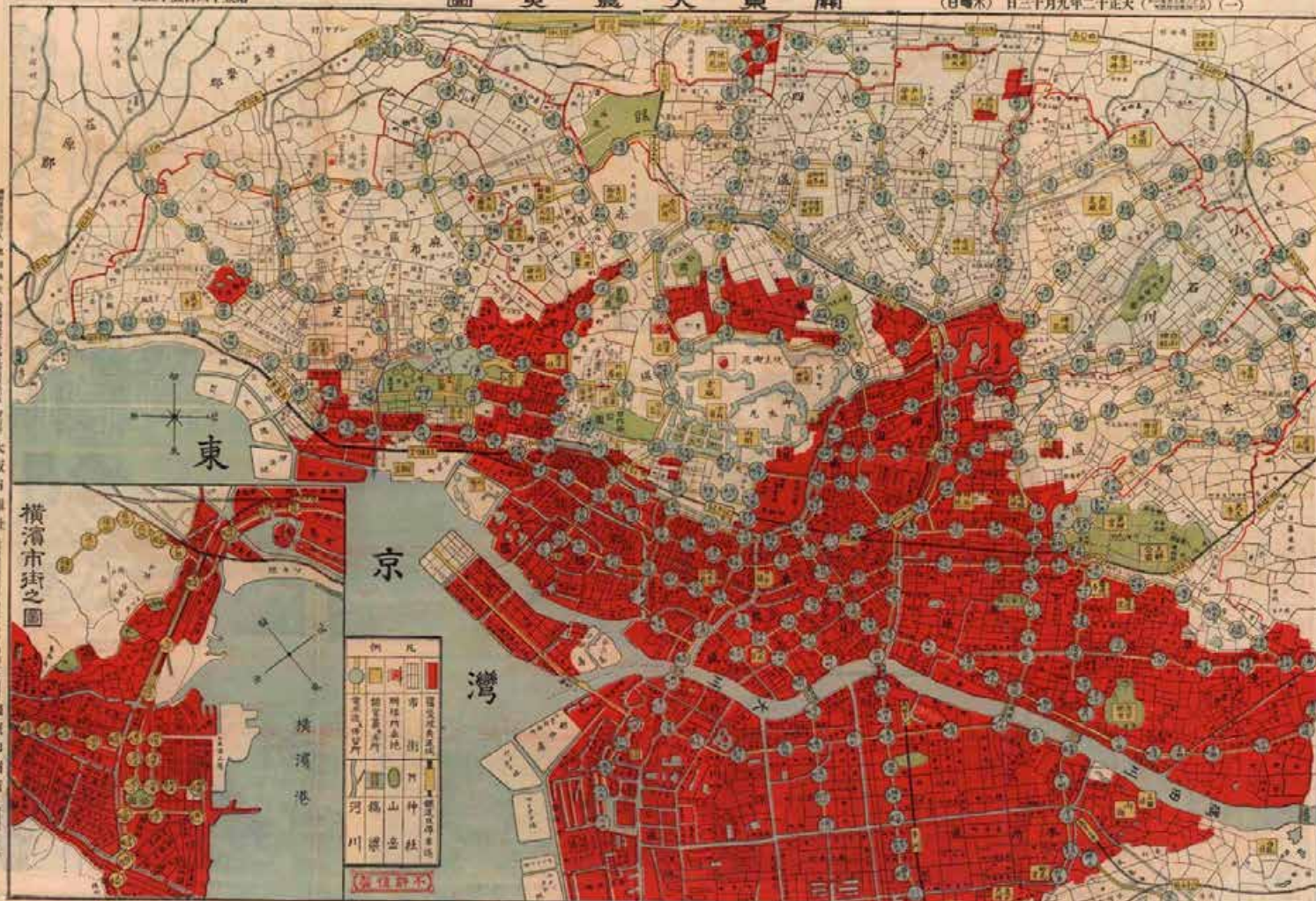
諸井孝文、武村雅之「関東地震（1923年9月1日）による被害要因別死者数の推定」
（日本地震工学会論文集 4巻4号 2004）より抜粋

https://jaee.gr.jp/stack/submit-j/v04n04/040402_paper.pdf

気象庁「関東大震災から１００年」特設サイト.

『大正関東地震の概要 関東大震災と天気』.

https://www.data.jma.go.jp/eqev/data/1923_09_01_kantoujishin/gaiyo.html



TOKYOアーカイブ收藏
東京都立図書館所蔵。

大阪日報社刊
『關東大震災圖』。

PD (PDM)

<https://archive.library.metro.tokyo.lg.jp/da/detail?tilco d=0000000008-00001849>

	関東大震災	阪神・淡路大震災	東日本大震災
発生年月日	1923年（大正12年）9月1日 土曜日 午前11時58分	1995年（平成7年）1月17日 火曜日 午前5時46分	2011年（平成23年）3月11日 金曜日 午後2時46分
地震規模	マグニチュード M7.9	マグニチュード M7.3	モーメントマグニチュード Mw9.0
直接死・行方不明	約10万5千人 （うち焼死 約9割）	約5,500人 （うち窒息・圧死 約7割）	約1万8千人 （うち溺死 約9割）
災害関連死	－	約900人	約3,800人
全壊・全焼住家	約29万棟	約11万棟	約12万棟
経済被害	約55億円	約9兆6千億円	約16兆9千億円
当時のGDP	約149億円	約522兆円	約497兆円
GDP比	約37%	約2%	約3%
当時の国家予算	約14億円	約73兆円	約92兆円

出典：諸井・武村（2004）『日本地震工学会論文集』第4巻第4号、東京市役所（1926）『東京震災録：前輯』、一橋大学社会科学統計情報研究センター『長期経済統計データベース』、
気象庁、警察庁、消防庁、復興庁、国土庁、内閣府、財務省、兵庫県資料をもとに内閣府防災担当作成

内閣府 防災情報のページ.『関東大震災100年』特設ページ「関東大震災とは」より抜粋. CC BY（表示）

<https://www.bousai.go.jp/kantou100/index.html>